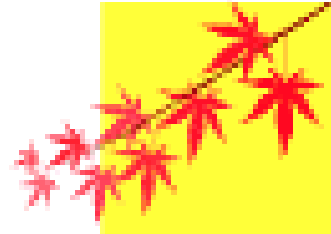




# 宮城県支部だより

- 1、ごあいさつ 副支部長 大沼 恭子
- 2、新役員紹介
- 3、講習会報告
- 4、会員寄稿



## 1、ごあいさつ

日本助産師会宮城県副支部長になる前と

なってしまった後

副支部長 大沼 恭子



私はいわゆる常套文句の挨拶を聞くのも書くのも、あまり好きではないので、かたぐるしい文章は書きませんが会員の皆様には是非私の顔と、名前は、知ってもらわなければ、という。

わけで、ご挨拶申し上げます。

もともとは、北海道育ち、前身札幌医大付属看護学校が、独立して道立衛生学院になった数年後に入り看護師、助産師課程で4年間、のびのびと楽しい悪いこともいっぱいやった、学生生活でした。

こんな学生時代をすごしたためか、すること、なすこと、おおまかで怖いもの知らず、新しいことがだいすきな、自己主張ばかりする、鼻持ちならないオンナになりました。この年になって、少し落ち着いてきましたが、まだときどき昔の悪いくせがでます。前の助産師会には

あまり魅力を感じなかったのですが、今は新田支部長や書記の田村さんがどんどん今の時代を生きる助産師を演出していくのを見て、私も参加したいと、また昔のくせがでてしまいました。

実際的な活動、事務処理などはじまったばかりですが、会員同志は、もっともっと仲良く和やかに交流しなければなりません。魅力ある助産師会を続けるためには、ひとりひとり気持ち良い運営、みんなで責任ある仕事を分担し、楽しく会が運営されるようにしたい。支部長はじめ役員さんとも仲良く、真剣に議論し、そして、時には >>会で本音を出し合う・・・のもいいですね。

編集部より

助産師には、結構いける口の方も多いとか・・・。

副支部長からのオフ会の薦め。(笑)会員の皆様

助産師会の人脈を活かして、楽しい会も

どんどん企画してください!とのことでした。



## 1、平成 15 年度役員 ( の方が新役員 )

支部長 新田 双葉  
副支部長 新田 みつ子  
副支部長 大沼 恭子  
会計 伊藤 朋子  
書記 田村 雪子  
教育部長 石川 初枝  
勤務部長 後藤 美子  
開業部長 笠松 愛子  
保健指導部長 松田美由紀  
会計監査 伊藤 祝子  
会計監査 生田目サツ子  
顧問 戸村たまよ



### 役員紹介 ( アンケート回収分のみ掲載 )

- Q 1 . 主な活動の場所はどこですか。
- Q 2 . 好きなこと、得意なことは何ですか。
- Q 3 . 苦手なことは何ですか。
- Q 4 . 助産師の仕事を一言で表すと？
- Q 5 . 会員の皆さまへのメッセージ

### 副支部長 大沼 恭子

- Q 1 . 宮城野区保健福祉センター 新生児訪問指導員
- Q 2 . 社交ダンス 1 週間に 2 , 3 回レッスンに行っています。  
発表会や検定試験もありハードな運動です。
- Q 3 . 何もしないこと
- Q 4 . いのち、人間を守る仕事
- Q 5 . 助産師の仕事はまだまだ社会に進出した方がよい。  
職場と自宅の往復だけではせっかくの知識や力がうもれてしまっているのですから。

### 会計 伊藤 朋子

- Q 5 . 数字に弱い伊藤が何の因果か会計をさせていただくことになりました。新たな課題へチャレンジ!! でがんばります。不手際発見のときは、遠慮なくご指導くださいませ。

### 開業部長 笠松 愛子

Q 1 . 2 か所開業



- 1、多賀城市東田中 1 - 15 - 5  
Tel 022 - 368 - 1860  
Fax 022 - 309 - 3532
- 2、仙台市若林区清水小路 5 - 6  
エステート五ッ橋 905  
Tel 022 - 266 - 7610  
Fax 022 - 266 - 7617

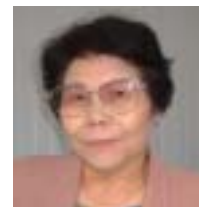
- Q 2 . 旅行、温泉
- Q 3 . 人前で話をする。いつまでも慣れません。
- Q 4 . 究極のサービス業と思っています。
- Q 5 . 2 年間開業部長としてがんばりたいと思います。  
どうぞ皆さまご意見を下さいますよう、御協力おねがい申し上げます。

### 保健指導部長 松田美由紀

- Q 5 . 2 期目の保健指導部長となります。  
どうぞよろしくお願ひします。ご意見、ご要望などお聞かせください。

### 会計監査 生田目サツ子

- Q 1 . 名取市保健センター 新生児訪問、乳児健診参加
- Q 2 . 民謡サークルに参加。  
1 日 1 日の生活に挑戦すること。
- Q 3 . 体力的な活動
- Q 4 . 人間の生命の出会いに触れる仕事です。
- Q 5 . 年齢を考えず可能な限り前向きに生活して参りたく思っております。役員としては初めてです。どうぞよろしくお願ひいたします。



## 2、講習会報告

### 1) 6月28日 支部総会 特別講演

宮城県立光明養護学校 桜田 博先生のお話を聞いて

養護学校の子供達から聞こえてくるもの

大沼 恭子

近所に幼稚園の送り迎えのバスのように、毎日送迎バスに乗る子供をお母さんやお祖母さんが連れて一定の場所に待っているのを、ときどき見かけていました。もちろんその人たちが養護学校にいつていることは知っていましたが、日常いろんなお付き合いの上で、直接話したことはありませんでした。

私の子供がもう大人になり長い子育てが終わっても、私のような交際範囲が広い人でも、とうとう知り合う機会をつくれませんでした。自分から飛び込まないから、と言われそうですが正直いって、なにかバリアのようなものを感じていた、といえいいのでしょうか。それが何なのか、ずっとわかりませんでした。それがすこしわかったような気がしたのです。あの送迎バスのお母さん達が今日のお話の中に登場する崇ちゃんのお母さんであり、桂ちゃんのお母さんであったのです。子供達への深い愛、人間性のかもしだすオーラみたいなものを、私自身が、当時何か、近付き難く感じていたのかもしれない。その当時は、子育てをそれほど大事に考えないで自分のことや、夫のこと、仕事のことで追われる毎日でした。そして、過ぎ去ってしまったのはじめて自分に後悔しているわけです。

それにしても、学校の種類がいろいろあり、いろいろな子供達がそれぞれの学校に入っている現実、それは私のようにわかりあえないまま過ぎ去って、ある時本当に大切なものまでも、忘れられたままになるとしたら……。そしてまた、うちの子供が桜田先生のような方と出会っていたら……。考えてももういたし方のないことです。いまより生き生きしたものになっているはず……。なのです。

### 2) 7月19日 第一回宮城県委託助産師研修会

「不妊治療の実際」のテーマで、国立仙台病院名誉院長、高橋克幸先生、「母子保健から虐待予防を考えるーエンジンバラ産後うつ病質問を中心にー」というテーマで、宮城子ども総合センター主任主査、斉藤和子先生から御講義いた

だいた。どちらも、最近話題のテーマであり、女性の相談を受ける上で欠かせない知識ある。具体的な内容が好評であった。

### 3) 8月10日 第二回宮城県委託助産師研修会

「10代の人工妊娠中絶・STDの増加、その背景にあるもの - リプロダクティブヘルツの視点から」とのテーマで、村口きよ女性クリニック院長 村口喜代先生より御講義いただいた。

午後は、会員による、思春期教育見本市を開催。それぞれに工夫された教材や性教育の取り組みが紹介された。



下中央が村口先生。



熱心に聞き入る会員の受講風景

### 3) 9月4・5日 東北ブロック講習会

開業部 岩佐 あけみ

福島県いわき市のいわき湯本温泉 スパリゾート・ハワイアンズで平成15年度(社)日本助産師会北海道・東北ブ



ロック研修が開催されました。私は9月5日に出席させていただきました。今回のメインテーマは「助産師の担う安全で快適な出産

と子育て」ということで、このテーマは、平成13年度にスタートした、すこやか親子21の主要課題のひとつであり、私たち助産師にとって永遠の課題でもあります。すこやか親子21が求めるものを再確認すると共に、長年活躍してこられた先輩諸師の心と技を共有し、また母親の声、施設や助産院での実践例、そして東洋医学を取り入れた具体的援助方法が学べる内容の構成ということでした。

出張開業助産師の乃一洋美氏による「東洋医学を取り入れた安全で快適な出産と子育て」では、東洋医学でいう気・血・臓腑これらのはたらきとこれらが失調したときにどんな症状になり、そうなったときにどんなケアをしたいのか。妊娠中のケアと分娩中に起こりえるリスクを東洋医学でどう対処しているかなど東洋医学的な理論に基づいておこなっていて、それが不思議と自然で納得のいく話だったので大変興味がわきました。

次に3児の母親 斉藤美幸氏「助産師への期待」では第1子、第2子を総合病院で出産。そのときまで残念なことに助産師と看護師がいるということすら知らなかった、病院にいるのはあの白衣を着ている人はすべて看護師だと思っていたということで、ドキュメンタリー「平成助産婦革命」の取材をきっかけにお産や母乳育児に興味を持ち、第3子を自宅で出産。今回3人目を連れ、授乳しながらの講演だったのですがとてもひきつける喋りで楽しく聴きました。斉藤氏が期待するものとして、とにかく助産師はここにいることをわかりやすくしてほしい。そして助産師としての社会的地位や知名度もあげてほしい。政治力も必要ですね。ということでした。

最後に、元福島県立医科大学看護学部 内藤和子氏による「伝えていきたい助産師の心と技」ということで福島県内で明治・大正生まれの開業産師(産婆)さんたちに語ってもらった話を中心に、いかに劣悪な出産環境を改善し清潔で明るい環境で出産できるように努力し、また家族一つ一つ理解しその家庭にあった指導をおこなっていた。そして、その時代のニーズに合った援助を行っていたか。そんな時代があり私たちの時代に受け継がれたものや失っているもの、いろいろと考えさせられました。

今回の研修会は福島県助産師会が一丸となって盛り上げており、大きな成果があったと思います。来年は我

が宮城県ということでした。さらに実りのある会になり、今後の母子の健康に生かしていけたらと思います。

北海道東北ブロック講習会、来年は、**宮城県が当番県です。**力を合わせて、成功させましょう。ご協力お願いします。

### 3、会員寄稿

#### こんな方いませんか？

財団法人宮城厚生協会坂総合病院 保土原俊美 助産師会の皆さん、お変わりありませんか？先日の地震で、死者が出なかったことは不幸中の幸いでした。さて、私のような若輩者がこんな事を述べてよいのかと、気後れしてしまいますが・・・。

当院の助産師は、3年目を過ぎると助産師外来を担当するようになります。そこで気になった方々を紹介いたします。

その 予約時間に来ない！  
受付終了の11:30を過ぎても来ないので、ご本人に連絡すると、「これから行きま〜す！」結局11:30に外来に現れました。何の為の予約時間なのでしょう。

その 妊婦健診は胎児撮影会？  
胎児が後ろ向きでお顔が写らないので、BPDとFLを計測し、胎児が動くのを待ちました。どんなに待ってもお顔を見せてくれる事は無く、その写真を渡しました。すると『こんなのに同じお金払うなんて不公平です。妊婦健診代返してください。』とおっしゃって『もういいです』と帰宅されました。

それから、違う方ですが順番を待っている間におなかが張ってきたそうです。順番になり診察室に入ってくださいと『病院に来る度、おなかが張るとはどいうことだ！病院変え



るから紹介状よこせ!』とご立腹です。おなかが張っているし、紹介状希望ならと医師の診察に変更しました。結局その方は、超音波の写真を沢山とってもらおうと満足してご帰宅されました。

その 母になるより・・・。

ミュール(サンダル)にキャミソール、ミニスカートで健診に来る方がいます。腹帯や靴下を身に付けられない理由を尋ねると、『服が似合わなくなるし、みっともないし、暑いからやだ!』・・・ごもともなんですが、共通して、浮腫や足先の冷えがあり『おなかが張るんですけど・・・』とおっしゃいます。

この他にも、分娩貸付金を分娩前に使い込んでしまう方や会計をせずに帰宅される方がいらっしゃいます。

また、だんな様が妊婦健診に関心を持って、立ち会うことは嬉しいのですが、ニット帽を被ったまま腕組みをし、ふんぞりかえって威圧的な方もいらっしゃいます。

総ての方がそうではありませんが、自分の欲求を満たそうとするあまり、母体や胎児への影響、危機感を持つ気持ちが薄れている様に感じます。皆さんは如何お考えでしょうか?

個人の力量だけでなく専門職としてどう関わっていくか問われる毎日ですが、日々是学びとして対応して行こうと思います。



## 助産師責任保険加入のおすすめ

日本助産師会では、助産所賠償保険・勤務助産師賠償保険・保指指導員賠償保険・団体傷害保険・団体所得保険を設定しております。万一に備えて加入をおすすめします。詳しくは、各所属部会長へお問い合わせください。

## 開業助産師部会よりお知らせ。

1、第2回開業助産師部会を以下のように開催します。

開業部会員は部会長笠松まで出欠をお知らせください。今後開業を考えている方などの公聴参加も歓迎します。

11月9日(日)1時~エルソーラ仙台(アエル28階)

2、助産所責任保険の更新時期です。昨年度の契約は10月末で終了します。開業助産師には必須ですので、ご確認ください。

## 編集後記

会員寄稿、おもわず、「そうそう、いるいる・・・。」となぜかたくなる困ったちゃん事例の数々。日常の診療の中では、助産師の努力だけでは、どうにもならないことに振舞わされて、無力感にさいなまれることもしばしばですが、皆さん、燃え尽きない程度に頑張っていきましょうね。

最近のオススメ本、「えらぶお産」。著者はNHKの「さくら」や「赤ちゃんを探せ」のドラマで分娩考証を担当したパースコーディネーターの大場ナナコさん。今どきの女性のためのからだをいとおしむためのガイドブックのような本です。河出書房新社より出ているピンクの本です。

違いのわかる人に選ばれる助産師でありたいものです。「いい仕事してますね~。やっぱり、助産師さんは、違う。」と、通をうならせる仕事をしたいものです。(伊藤朋子)



Copyright © 2001 Hospital Cafe. All Rights

\*\*\*\*\*

## 支部だよりについての問合せ・投稿先

〒981-3131 仙台市泉区七北田字東裏46-1

(伊藤)

022-772-5960

Fax 022-772-5961

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

## 社団法人 日本助産師会 宮城県支部

〒985-0822

宮城県七ヶ浜町汐見台南1丁目1-5

支部長 新田 双葉

Fax 022-357-6562

\*\*\*\*\*